

CASBEE\_Sapporo2014v1.2  
 クリーンリバーフィネス澄川レジデンス

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.2  
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート	実施設計段階				重点評価項目				
	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄				
	A	B	C	D	建物全体・共用部分	住居・宿泊部分	全体		
配慮項目					評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
<b>Q 建築物の環境品質</b>									<b>3.1</b>
<b>Q1 室内環境</b>						0.40	-	-	<b>3.7</b>
<b>1 音環境</b>					<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>
1.1 騒音					3.0	0.50	3.0	0.50	
1.2 遮音					3.0	0.50	3.0	0.50	
1 開口部遮音性能					3.0	1.00	3.0	0.30	
2 界壁遮音性能					-	-	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-	-	3.0	0.20	
1.3 吸音					-	-	3.0	-	
<b>2 温熱環境</b>					<b>1.3</b>	0.35	<b>5.0</b>	1.00	<b>4.4</b>
2.1 室温制御					1.7	0.50	5.0	1.00	
1 室温					1.0	0.63	-	-	
2 外皮性能	A				3.0	0.38	5.0	1.00	
3 ゾーン別制御性					-	-	-	-	
2.2 湿度制御					1.0	0.20	-	-	
2.3 空調方式					1.0	0.30	-	-	
<b>3 光・視環境</b>					<b>2.6</b>	0.25	<b>3.8</b>	1.00	<b>3.6</b>
3.1 昼光利用					1.8	0.30	4.6	0.50	
1 昼光率					1.0	0.60	5.0	0.50	
2 方位別開口					-	-	5.0	0.30	
3 昼光利用設備	A				3.0	0.40	3.0	0.20	
3.2 グレア対策					3.0	0.30	3.0	0.50	
1 昼光制御	A				3.0	1.00	3.0	1.00	
2 眩り基調対策					-	-	-	-	
3.3 照度					3.0	0.15	-	-	
3.4 照明制御					3.0	0.25	-	-	
<b>4 空気質環境</b>					<b>3.4</b>	0.25	<b>3.1</b>	1.00	<b>3.1</b>
4.1 発生源対策					3.0	0.60	3.0	0.63	
1 化学汚染物質					3.0	1.00	3.0	1.00	
2 化学汚染物質					-	-	-	-	
4.2 換気					4.0	0.40	3.3	0.38	
1 換気量					3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能					-	-	4.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮					5.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理					-	-	-	-	
1 CO <sub>2</sub> の監視					-	-	-	-	
2 喫煙の制御					-	-	-	-	
<b>Q2 サービス性能</b>					-	0.30	-	-	<b>3.3</b>
<b>1 機能性</b>					<b>3.9</b>	0.40	<b>3.8</b>	1.00	<b>3.8</b>
1.1 機能性・使いやすさ					3.0	0.40	4.0	0.60	
1 広さ・収納性					-	-	-	-	
2 高度情報通信設備対応					-	-	4.0	1.00	
3 バリアフリー計画					3.0	1.00	-	-	
1.2 心理性・快適性					5.0	0.30	3.5	0.40	
1 広さ感・景観					-	-	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース					-	-	-	-	
3 内装計画					5.0	1.00	4.0	0.50	
1.3 維持管理					4.0	0.30	-	-	
1 維持管理に配慮した設計					4.0	0.50	-	-	
2 維持管理用機能の確保					4.0	0.50	-	-	
3 劣化管理業務					-	-	-	-	
<b>2 耐用性・信頼性</b>					<b>2.8</b>	0.30	-	-	<b>2.8</b>
2.1 耐震・免震					3.0	0.50	-	-	
1 耐震性					3.0	0.80	-	-	
2 免震・制振性能					3.0	0.20	-	-	
2.2 部品・部材の耐用年数					3.0	0.30	-	-	
1 躯体材料の耐用年数					3.0	0.20	-	-	
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	B				3.0	0.20	-	-	
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	B				3.0	0.10	-	-	
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	B				3.0	0.10	-	-	
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	B				3.0	0.20	-	-	
6 主要設備機器の更新必要間隔	B				3.0	0.20	-	-	
2.4 信頼性					2.2	0.20	-	-	
1 空調・換気設備					3.0	0.20	-	-	
2 給排水・衛生設備					2.0	0.20	-	-	
3 電気設備					1.0	0.20	-	-	
4 機械・配管支持方法					3.0	0.20	-	-	
5 通信・情報設備					2.0	0.20	-	-	
<b>3 対応性・更新性</b>					<b>3.0</b>	0.30	<b>3.1</b>	1.00	<b>3.0</b>
3.1 空間のゆとり					-	-	3.2	0.50	
1 階高のゆとり					-	-	4.0	0.60	
2 空間の形状・自由さ					-	-	2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					-	-	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性					3.0	1.00	-	-	
1 空調配管の更新性					3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性					3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性					3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性					3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性					3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.20	-	-	

CASBEE\_Sapporo2014v1.2  
 クリーンリバーフィネス澄川レジデンス

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価マニュアル: CASBEE\_Sapporo2014v1.2  
 ■評価ソフト: CASBEE札幌2014 (ver.1.3)

スコアシート	重点評価項目				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	A	B	C	D		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>						-	0.30	-	-	2.2
1 生物環境の保全と創出			C			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			C			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮						2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				D	評価内容による	4.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上		B	C			1.0	0.50	-	-	-
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>						-	-	-	-	3.3
<b>LR1 エネルギー</b>						-	0.40	-	-	4.3
1 建物外皮の熱負荷抑制	A				性能評価温熱4等級確保	5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用	A					2.0	0.10	-	-	2.0
3 設備システムの高効率化					BEI 非住宅 - 住宅(専有部) 0.83	5.0	0.50	-	-	5.0
集合住宅以外の評価(3a.3b)	A					-	-	-	-	-
集合住宅の評価(3c)	A				評価内容による	5.0	1.00	-	-	-
4 効率的運用						3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価						-	-	-	-	-
4.1 モニタリング	A					-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	A					-	-	-	-	-
集合住宅の評価						3.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング	A					3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制	A					3.0	0.50	-	-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>						-	0.30	-	-	2.6
1 水資源保護						3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水					節水器具使用	4.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用						3.0	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無						3.0	0.70	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無						3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減						2.5	0.60	-	-	2.5
2.1 材料使用量の削減		B				2.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用		B				3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		B			-	3.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		B			-	1.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材		B				3.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		B				3.0	0.20	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避						2.3	0.20	-	-	2.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用						3.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避						2.0	0.70	-	-	-
1 消火剤		B				-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)		B				2.0	1.00	-	-	-
3 冷媒		B				-	-	-	-	-
<b>LR3 敷地外環境</b>						-	0.30	-	-	2.8
1 地球温暖化への配慮		B			評価内容による	4.1	0.33	-	-	4.1
2 地域環境への配慮						2.0	0.33	-	-	2.0
2.1 大気汚染防止		B				3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善		B	C	D		1.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制						3.0	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減		B				2.0	0.25	-	-	-
2 汚水処理負荷抑制						3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制					自転車置場、駐車場の確保	4.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制		B		D		3.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮						2.3	0.33	-	-	2.3
3.1 騒音・振動・悪臭の防止						3.0	0.40	-	-	-
1 騒音						3.0	0.33	-	-	-
2 振動						3.0	0.33	-	-	-
3 悪臭						3.0	0.33	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制						1.6	0.40	-	-	-
1 風害の抑制						1.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制						-	-	-	-	-
3 日照阻害の抑制						3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制						2.3	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び室内照明のうち外に漏れる光への対策						2.0	0.70	-	-	-
2 屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策						3.0	0.30	-	-	-